

令和8年10月9日

市政記者 各位

福岡市総務企画局国際政策課

第15回アジア太平洋都市サミットを開催します（取材のお願い）

福岡市では、10月19日から21日まで、国内外の都市代表者が参加する第15回アジア太平洋都市サミットを開催します。

この国際首長会議は、アジア太平洋地域の都市リーダーたちが一堂に会し、都市が抱える課題の解決に向けた事例共有や参加者同士の活発な意見交換によって、都市相互の協力関係や都市のさらなる発展に向けたネットワークの構築・拡大を図ることを目的とした国際的な首長プラットフォームです。

市政記者の皆様におかれましては、会議の様子等をぜひ取材いただきますようよろしくお願いいたします。

記

1 日程・主なプログラム等

令和8年10月19日(月)：開会式、国連ハビタット事務局長による基調講演、
都市代表者のフォトセッション

10月20日(火)：分科会、全体会議・閉会式、市内小学生による会場見学

10月21日(水)：行政施設等の視察（福岡市内）

2 会場 ヒルトン福岡シーホーク 他

3 参加者 アジア太平洋地域の都市（12か国29都市）、国際機関、民間企業等

4 その他

- ・ 詳細なプログラムは別紙をご参照ください。
- ・ 19日、20日の取材を希望される方は、ヒルトン福岡シーホーク1階に設置する総合受付にお越しいただき、お名刺をご提示ください（19日は13時30分から、20日は9時から受付を行います）。
- ・ 21日は、福岡市認知症フレンドリーセンター視察の取材を受け付けます。取材を希望される方は、10月16日までに下記【その他お問合せ先】までご連絡ください。
- ・ 10月19日の17時30分頃から、本会議場において国連ハビタット事務局長アナクラウディア・ロスバッハ氏の取材対応を行う予定です（30分程度）。取材を希望される場合は、17時30分までに本会議場の記者席にお越しください。

【国連ハビタット事務局長取材に関するお問い合わせ】

国際連合人間居住計画（ハビタット）福岡本部

担当：熊谷、星野 電話：092-724-7121

【その他お問合せ先】

福岡市総務企画局国際政策課 担当：樋口 電話：092-711-4048

第 15 回アジア太平洋都市サミット概要

会 議 名：第 15 回アジア太平洋都市サミット

テ ー マ：共働・共創～住み続けられるまちづくり

開 催 期 間：令和 8 年 10 月 19 日(月)～21 日(水)

会 場：ヒルトン福岡シーホーク 他

主 催：福岡市、国際連合人間居住計画（ハビタット）福岡本部（アジア太平洋担当）

共 催：国際連合地域開発センター（UNCRD）

協 力：世界銀行グループ東京開発ラーニングセンター

企画・運営：第 15 回アジア太平洋都市サミット実行委員会

後 援：総務省、外務省、国土交通省、環境省、国際連合開発計画（UNDP）、国際連合広報センター（UNIC）、一般社団法人グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン（GCNJ）、独立行政法人国際協力機構（JICA）



<第 15 回アジア太平洋都市サミット キービジュアル>

プログラム

下記記載のプログラムについては、撮影及び取材可能です（会場内、一部立入禁止エリアがあります）。

1日目：10月19日(月)

14:00～15:00	開会式 主催者挨拶：福岡市長 高島 宗一郎 参加都市紹介
15:00～15:10	基調講演 国連事務次長及び国連ハビタット事務局長 アナクラウディア・ロスバッハ 氏
15:25～16:30	国連ハビタットセッション 「包摂的な都市の推進：インフォーマル居住区やインフラ整備・支援が行き届かない地域の居住環境の改善」
16:30～17:15	世界銀行グループ東京開発ラーニングセンターセッション 「土地をレバレッジする：価値の最大化と還元で生み出す新たな都市再生モデル」
17:15～17:30	フォトセッション ※集合写真撮影終了後、17:30 頃から 30 分程度ロスバッハ氏の取材対応を同会場で行います。

2日目：10月20日(火)

9:30～10:15	分科会導入セッションⅠ 「アジア太平洋地域の都市における持続可能な都市モビリティの加速：地域の取組み、国際的なコミットメント、そして「持続可能な交通の国連の10年」に向けた道筋」
10:15～10:55	分科会導入セッションⅡ 「地域疫学研究からみた日本における認知症の現状と未来」
11:15～12:00	分科会導入セッションⅢ 「リスクからレジリエンスへ：協働で実現する都市課題の解決」

The 15th Asian-Pacific City Summit

13:00～16:00 分科会

- I 「官民連携による持続可能な都市インフラづくり」
- II 「超少子高齢社会が進む中で誰もが自分らしく暮らせるまちづくり」
- III 「ソフト・ハードの両輪で取組む安心・安全な防災都市づくり」

※同時刻に会場内装飾制作に協力してくれた市内小学校の会場見学を実施します。

17:00～17:30 全体会議・閉会式

- ・ 分科会報告、議決事項承認
- ・ 共同宣言
- ・ 次回開催都市挨拶

3日目：10月21日(水)

- コース1 福岡市都心部再開発エリア、スタートアップ支援、Park-PFI
- コース2 廃棄物処理、ごみ減量
- コース3 アーティスト支援、福祉・介護体験、防災体験
- コース4 上水関連、下水関連

※福岡市認知症フレンドリーセンターの視察は、13:00～14:00 を予定しております。

<参考：第12回アジア太平洋都市サミットの様子>



参加都市一覧 ※10月9日時点 12か国 29都市

カンボジア	コーロン市 シェムリアップ州 シハヌークビル市
インドネシア	ヌサンタラ
日本	福岡市 鹿児島市 北九州市 熊本市 宮崎市 長崎市 大分市 佐賀市 佐世保市
マレーシア	イポー市 イスカンダル・プテリ市
ネパール	マディヤプル・ティミ市
パキスタン	ペシャワール市 シャブカダル市
パプアニューギニア	ポートモレスビー市
フィリピン	マニラ市 タルラック州
大韓民国	釜山広域市 光陽市 浦項市
シンガポール	シンガポール
タイ	ハートヤイ市
ベトナム	カントー市 ダナン市 ハイフォン市



Anacláudia Rossbach
United Nations Under-Secretary-General
Executive Director,
United Nations Human Settlements Programme (UN-Habitat)

アナクラウディア・ロスバッハ

(Anacláudia Rossbach)

国連事務次長 /

国連人間居住計画（ハビタット）

事務局長



アナクラウディア・ロスバッハ氏（ブラジル出身）は、2024年6月7日、国連人間居住計画（UN-Habitat）の事務局長（国連事務次長レベル）に4年間の任期で任命されました。国連事務総長の指名を受けて国連総会で選出され、2024年8月12日に正式に着任しました。

ロスバッハ氏は、インフォーマルな都市居住地（スラム等）、公営住宅、都市政策といった分野において、都市、国内、国際的なレベルでの関係者と協働しながら官民・市民セクターにおける戦略の設計および実施に20年以上携わった経験を持つエコノミストです。

UN-Habitatの事務局長に任命される前は、南米・カリブ海地域においてリンカーン土地政策研究所の長を務めていました。また、2014年から2022年まで、都市同盟 (Cities Alliance) で南米とカリブ海地域のマネージャーを務め、地域レベルでの知見の共有を促進するとともに、ブラジル、ジャマイカ、ハイチ、グアテマラ、エルサルバドル、メキシコ、チリ、パラグアイなどの国々で住宅と都市政策に関する政策助言に従事したほか、新型コロナウイルス感染症のパンデミックに対応して、インフォーマル・セクターに関するグローバル・プログラムを主導しました。

2005年から2014年にかけては、世界銀行で上級住宅専門家を務め、ブラジル、インド、モザンビーク、フィリピン、南アフリカなどで大規模な住宅およびインフォーマル居住地の改善プログラム構築を主導するなど、世界中の国々で住宅問題を解決するための技術支援を実施し、ハイレベルの政策対話を促進しました。

彼女はサンパウロ市に勤務した経験もあり、Slums Dwellers Internationalと提携している非政府組織 Interação の創設ディレクターを務め、ブラジルのサンパウロ州とレシフェ市のインフォーマルコミュニティで実施した事業は、大きな影響力をもちました。

ロスバッハ氏はブラジルのサンパウロ・カトリック大学で経済学の学士号と政治経済学の修士号を取得しています。英語、ドイツ語、ポルトガル語、スペイン語について流暢であるほか、フランス語は中級レベルです。